

講師紹介

土肥 美智子（どひ みちこ）氏

国立スポーツ科学センタースポーツメディカルセンター副主任研究員。医学博士。日本スポーツ協会公認スポーツドクター。

1991年、千葉大学医学部卒業。医師国家試験合格後からスポーツドクターを目指す。放射線診断学専門医として大学病院に勤務するかたわら、スポーツドクターとして主にサッカーの仕事に携わる。2006年より国立スポーツ科学センターに籍を置き、スポーツドクターに専念。トップアスリートの健康管理、臨床研究およびオリンピック、アジア大会、男女サッカーワールドカップ等に帯同。日本オリンピック委員会(JOC)医学サポート部会員、日本サッカー協会(JFA)「医学委員会」委員、アンチ・ドーピング部会長、アジアサッカー連盟(AFC)「医学委員会」副委員長、国際サッカー連盟(FIFA)「医学委員会」委員、国際オリンピック委員会(IOC)「スポーツと活動的社會委員会」委員ほか。

『サッカー日本代表帯同ドクター 女性スポーツドクターのパイオニアとしての軌跡』より抜粋

著者：土肥 美智子 発行所：時事通信出版局

岩田 泰典（いわた たいすけ）氏

医療法人社団幸風会 緑園ゆきひろ整形外科 リハビリテーション部主任。

2008年に医療法人社団幸風会 緑園ゆきひろ整形外科に入職。2014年には米国カリフォルニア州へ理学療法の技術向上を目的とした留学を行い、後に全米認定機能的徒手療法士(CFMT)を取得。理学療法士として勤務する傍ら、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーとして2012年日本水泳連盟トレーナー会議に入会。日本水泳連盟水球強化スタッフとして2017年から現在まで数々のワールドリーグ・ワールドカップに帯同、昨年の東京オリンピックでは日本代表選手団の水球部門専属トレーナーとして活躍される。

【トレーナー帯同歴】

2017 ワールドリーグスーパーファイナル(ロシア)

2018 ワールドリーグインターコンチネンタルカップ(ニュージーランド) ・ ワールドカップ (ドイツ)

2019 ユニバーシアード夏季競技大会(イタリア)

2021 ワールドリーグスーパーファイナル(ギリシャ) ・ 東京 2020 オリンピック競技大会